

夏休みを終えた三年生たちの決意や今の思いを作文してもらいました。将来の夢を叶えるために進路を実現しようとする生徒、一学期の反省をもとに、受験に向けて気分を一新して頑張る決意を述べる生徒の素直な気持ちの表れた作文を紹介します。

受験本番まであと六か月

三年生 A

受験本番まであと六か月です。私はとてもあせっています。しかし、受験勉強どころか、学校の授業で精いっぱい状態です。今の勉強ができていなかったら、受験勉強なんてできるはずがありません。だから、私はこのあすなる塾に入塾しました。

入塾の前の面談の時に、私は、「夏休みだから遊びすぎず、勉強を一日五時間くらいはしなさい。」と言われました。その時私は、まだまだ勉強が足りないのだと思いました。そして、私は英語が五教科の中で一番好きだから英語の宿題ばかりしていました。面談で「好きな教科ばかりするのはなく、苦手な教科もすることが大切だ。」とも言われました。私は、普段から自主学習は好きな教科のものをばかりしていました。だから、分からないところそのままにしてしまっていました。

だから、私は、しっかりと計画を立てて、どの教科も均一に勉強しようと思います。その中でも特に、苦手な教科の自分ができていないところを勉強しようと思います。だから私はこの六か月でどの教科も得意になるように勉強して志望校に合格できる力をつけたいと思っています。

あすなる塾に通って

三年生 B

私は、今年の夏休み前から、あすなる塾という塾に通っています。私は、この塾に通っていて、良いと思うところが三つあります。

一つ目は、先生方が、分かるまで、勉強をサポートしてくれることです。手を上げると、すぐ分からないところを分かりやすく教えてくださいます。間違えたところも、分かりやすくかつ、面白く教えてくださるので、この塾に入って、よかったと思っています。

二つ目は、部屋がきれいで、虫が入ってこないところです。机も椅子も整って置いてありますし、すごく良い環境で勉強させてもらっているの、感謝しています。普通は、夜になると、明るいとこに虫が集まってきたり、部屋に入ることがあるのですが、この塾は、カーテンがあるので、虫があまり入ってきません。しかも、数学科の影山先生が毎日、塾に到着したら、菓をまいておいてくれます。カーテン+菓の二重装備なので、他の塾にも教えてあげたいと思いました。

三つ目は、ワークブックや、模試、フアイルのお金が○円だということです。私が前通っていた塾では、夏期講習や模試があるときは、普段よりも、二倍近く、お金を払っていました。しかし、この塾は○円なんです。最初は私も「本当かな。」と半信半疑だったのですが、本当でした。私が思う、三次一の塾だと思っています。私は受験生でA高校という高校に行きたいと思っています。だから、あすなる塾で、学校の先生には詳しく聞くことのできなかった疑問を聞いて、

苦手な教科も良い成績がとれるよう、がんばっていききたいです。

高校受験に向けて

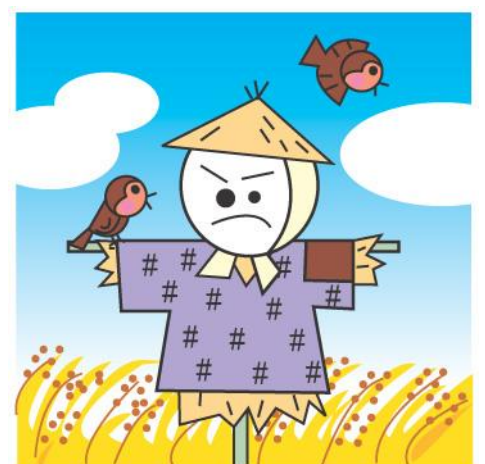
三年生 C

受験本番まで、残り六か月になりました。私は夏休みが始まるまで、志望校について深く考えていなかったけれど、夏休みに入って自分の行きたい高校を二つに絞ることができました。私は受験のために二学期から頑張っていることが二つあります。

一つ目は、授業中に寝ないことです。僕はいくつかの授業で寝ていたことがあります。特に理科の授業で何回も寝ていました。一学期のテストで理科の点数が今までと比べてかなり落ちていて寝ていたことが原因の一つだと思いました。理科だけでなく、成績の下がった教科が他にもありました。二学期もこのままだと、志望校に合格できなくなると思うので、二学期から授業中に寝ないように頑張っていきたいと思っています。

二つ目は、テスト勉強を余裕持つてすることです。これまでは、テストの一週間くらい前から始めていて、テストの前日まで詰め込んでやっていたので余裕をもってテスト勉強ができませんでした。だから適当にしていたところもありました。しかし、二学期からは、テストの二週間前から勉強を始めようと思います。

このように、私は一学期の悪かった点を直して、一学期の点数を上回ることができるよう、この二つのことを意識して頑張っていきたいと思っています。



将来の夢

三年生 D

私は、将来介護士になりたいです。だから高校は、総合学科で生活福祉系列があるG高校か、生活福祉科のあるF高校に行き、資格を取りたいです。

私が、なぜ介護士になりたいかというところ、私の母の影響が大きいです。私の母は介護の仕事をしていて、小さい時に数回母の働いている姿を見たことがあります。その時働いている母を見て「格好良い。」と思ったのがきっかけで「介護士になりたい!」と思うようになりました。

そのため、私は、一年生の時の職場体験学習で松柏園という老人ホームを選択しました。仕事は大変だったのですが、その日の仕事が終わると、「今日も一日やりきったぞ! 楽しかった!」と思うと同時に達成感を感じました。職場体験五日目の最終日に私がよく話をしていたお年寄りの方が「もう今日で終わりなん? すごく早く感じたよ。本当にありがとね。」と言ってくださいまし

た。私は、そのことを今でも覚えています。

何日かして、学校の行事でボランティアで松柏園に行きました。私がよく会話していたお年寄りの方もいらつしやいました。レクなどで遊び終わった後に、そのお年寄りの方から、「元気にしとったん？会えなくなつて寂しいよ。でも今日会えてよかった。ありがとう。元気出た。頑張つてね。」と言われ、とてもうれしかったし、感動しました。学校の先生が私とお年寄りの方との写真を撮ってくださいました。

私は、利用者さんから言われた言葉がうれしくて松柏園を選んでよかったと思いました。この事もあって介護士になりたいと思いました。だから、受験まで六カ月あるので、しっかりと勉強して志望校に合格し、介護の資格を取り、松柏園で働きたいです。

受験に対する思い

三年生 E

今年は、いよいよ受験生です。私は、すごく勉強が苦手で、受験勉強をやるうと思つても、ぜんぜんやる気が出ません。しかし、私にはどうしても受かりたい高校があります。だからこのままではだめだと思いました。本当なら、一、二年生のときからコツコツやって積み重ねなければいけないけれど、今までぜんぜんやっていなかったの、志望校に受かるために、今からでもやらなければいけません。中学最後の夏休みを終えて、

これまでの中学校生活で後悔はたくさんあるけれど、小学生のときからの夢をかなえるために、絶対志望校に受かります。高校生になったら今より勉強が難しくなると思います。新しい出会いもあります。そ

こで、新しい仲間と充実した高校生活を送りたいです。

だから、受験本番までの六ヶ月、全力で勉強したいです。正直、六ヶ月で簡単に勉強ができるようになると思つていません。でも、それは、私の努力しだいです。いつきでできるようにならなくても、少しずつでもできるようになつていきたいし、最終的には、志望校に受かりたいです。勉強が苦手な私にとつて、今から勉強しても間に合うのかなという不安や、志望校を変えたほうがいいのかという諦めが出てくるときがよくあります。

しかし、しっかりと勉強して、志望校を変えずに、初めから行きたいと言つていた高校に受かることができたらいいと思つています。



やるぞ！受験勉強

三年生 F

受験本番まであと六か月あるけど、私は選抜一を受けようと思います。そのために三年生の二学期がとても大切だと思います。その中で特にがんばりたいことが二つあります。

一つは、中間試験、期末試験で良い点をとつて良い成績をとるということです。一年生から三年生一学期までどうにか成績が上がりつてきて、学校の三者懇談でも二学期がんばれば推薦をあげられると言われました。だから、良い成績をしつかり保つて推薦がもらえるようにがんばりたいです。

二つ目は、先生と言ひ合いをしないという事です。僕は前回も先生と言ひ合いをしてきました。でも、最終的に選抜一を受けさせるかさせないかを決定するのは先生なので、先生にしっかりと良い印象を持つてもらえるようにがんばつていきたいです。

他には、部活はまだ引退してないの、サッカ一もがんばりたいです。それに駅伝もあります。去年は県大会に出ることができたので今年も出られるようにがんばりたいです。

でも、だいたいは決まっているけれどもだこの高校に行くか迷っています。その中の一つの高校のI高校でも三つの学科があつて迷っています。もう少し期間はあるのでオープンスクールなどに行つて、しっかりと自分の行きたい高校を決めていきたいと思っています。

2019年度 塾 生 募 集 あすなろ中学部

○少人数&個別指導で学べます。

○コースは2種類。

◇英数コース(週2回)

月14,000円

◇理社コース(週1回)

月6,000円

○授業料減免措置があります。

◇ひとり親家庭は半額免除

◇生活保護家庭は英語コース 月2,000円、理社コース 月1,000円

○あすなろ塾は授業料以外の経費(テキスト、模擬試験、夏季講座等)は徴収いたしません。

入塾受付

期間 随時(ただし、火・水・金曜日)

時間 16:30~18:00

場所 あすなろ塾

○電話でも受け付けます。

Tel 0824-55-6301



数学の思想・学問的態度の体感を！

影山克典

時々生徒から「なんで数学なんか勉強せんといいんのん」「こんなん(数学の内容)やって何の役にたつん」と聞かれる。「それを塾で聞くなあ・・・・」と思いつながら、「生徒も結構しんどい思いをしているんだなあ」と考えてしまう。

もちろん彼らはその理由を本当に知りたくて質問しているわけではない。「勉強がづらい、よくわからない」との訴えの一表現だとはわかっていながら、これまでその投げかけにきちんと答えられたことはほとんどない。

もしもともに中学や高校で数学を学ぶことの意義を聞かれたならば、私は次の七点だと答える。

- 将来数学を学ぶときに必要な数学の基礎的な学力をつける
 - 数学的なトリックにだまされない力をつける
 - 学問的好奇心を満足させる
 - 数学を学ぶことを通して得ることのできる力(考え方)をつける
 - * 分析・総合・構成力
 - * 論理的思考力
 - * 数学的な思想(学問的態度) 等々
 - 学校の成績を上げる
 - 受験を乗り切る力をつける
 - 数学(算数)を学ぶ過程で、奪われ・失ったもの(誇り、学習意欲等)を、数学を学ぶことで取り戻す
- しかし、これらの答えを提示しても生

徒には響かない。

社会の学校教育に対する要請は最初の項目が主たるものだと考えられるが、だからこそ将来役に立つ生徒と役に立たない生徒がいることは間違いない。従って生徒の疑問もあながち否定できない。

私の考えでいえば、人類が社会を更新していくうえで「教育」を重要な要素として取り入れて以降、学校教育は教育の大きな柱になり、数学の勉強は避けて通れなくなっている。避けられない以上、ここに列挙したことを、少しずつでも身につけてくれたらと願う。私としてはとりわけ、数学の思想(学問的態度)を体感してみてもらいたいと思う。

私の考える「数学の思想(学問的態度)」とは、「数学は『拡張』によって発展していく」というものである。

数学の親戚ともいえる自然科学(物理学、天文学、化学、生物学等)の学問的態度と比べれば、その独自性は際立つ。

たとえば、天文学における「天動説」から「地動説」への移行の歴史をみれば、自然科学の毅然たる学問的態度が良くわかる。

一六世紀から一七世紀にかけて、それまで主流であった「天動説」が否定され、替わって「地動説」が主流となる。「太陽が地球のまわりを回っているのではなく、地球が太陽のまわりを回っているのだ」となっていく。「地動説」を唱えたガリレオ・ガリレイが宗教裁判で無理矢理「天動説」を認める宣誓をさせられた後、続けて「それでも地球は回っている!」と叫んだというエピソードは有名である。

自然科学の場合、間違いは間違いとして

正していく、これをくり返し、積み重ねていくことが学問の発展につながる。これこそが自然科学の学問的態度だと思う。この学問的態度はぜひとも生徒に体感してもらいたい。

一方、数学はそれと大きく違つ。

小学校の頃、次のように習っている。

「5—2=3、2—5はできない」

と。しかし中学校になると「5—2=3、2—5=—3」と習う。これは数の世界を自然数(1, 2, 3,

4・・・・)から整数(・・・・—3,—

2,—1, 0, 1, 2, 3・・・・)に広げたことによる。これまでできていたことはそのままでき、これまでできなかったことをできるようにする、これが「拡張」といわれる数学の学問的態度である。

数学は様々な分野でこの「拡張」をくり返し、積み重ねることで学問を発展させてきた。私はこれこそが数学的な思想だと考える。生徒にはこのことも体感してもらいたい。

自然科学の学問的態度も数学の学問的態度も両方を体感してこそ科学のおもしろさが感じられると思う。

もちろん、数学と自然科学は対立的なものではない。「万有引力の法則」と「微分積分学」の関係を見れば明らかだろうに、お互いを高め合う関係である。

受験競争、学校教育のゆがみが最初に述べた生徒の反応を引き起こしていることは確かであるが、現実社会を生きていくかぎり、それらを全否定することもできず、さりとて学問のおもしろさをじっくり味わえるようにしたいと考えるのは無理なのだろうか。

大学を入りやすく、卒業しにくくするしかないと思うが、いかがだろうか。今のところ、生徒の勉強に寄り添っていくしか私のできることはないと考えているが・・・。



ご支援していただいている企業・団体

- ・ ミヨシ電子株式会社
(三次市東酒屋町)
- ・ ㈱三次衛生工業社
(三次市四拾貫町)

ご支援にいただいた皆様

- ・ 瀬戸三蔵 (三次市三良坂町)
- ・ 瀬川順子 (三次市三良坂町)
- ・ 木倉敬之 (東京都東久留米市)
- ・ 廣川幹二 (三次市高杉町)
- ・ 笹田富子 (福山市水呑町)
- ・ 匿名 二名

あすなろ通信 39号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ

事務局 〒728-0006 三次市畠敷町 36 番地 7

(TEL 0824-55-6301 FAX 0824-55-6302)

発行日 2019 年9月20日

今月のことば

壁というのは、できる人にしかやっこない。

超えられる可能性がある人にしかやっこない。

だから、壁がある時はチャンスだと思っている。

イチロー

「私たちは経済格差を教育格差にしてはならないという理念でこのあすなろ塾を始めました。その理念に賛同いただいた企業や地域みなさんの支援を受けて運営が成り立っています。応援していただいているみなさんに、私たちも地域の清掃活動を行うことで感謝の気持ちを表しているのです。頑張りますよ。」

松本理事長は、あいさつの中で、学習塾であるあすなろ塾が地域奉仕活動をするこの意味と重要性を説明しました。

九月八日（日）午前七時に塾生八人、保護者八人、スタッフ四人の総勢二〇人が八次親水公園に集まり、地域奉仕活動を行いました。



あいさつする松本理事長

馬洗川クリーンキャンペーン

ホームページにそのときの様子を掲載しました。ご覧ください。



集まった大量のゴミ

参加者は四つのコースに分かれて、約一時間の清掃活動を実施しました。途中で散歩しておられた地元の方から「おはよう。頑張っているね、ありがとう。」と声をかけていただく場面もありました。

一時間後、それぞれが持ち帰ったごみが写真のとおりたくさん集まりました。早朝から気持ちの良い汗をかくことができました。地域に支えられている私たちはこれからも地域の応援にどう応えていくかを探り続けて行くことを再確認した一日でした。



予想していたよりも道路はきれいでした

NPO法人あすなろ・賛助会員募集

賛助会員：ボランティア活動はできないが、寄付金等でご協力いただける企業や個人

個人年会費：1口（5,000円）以上

企業等年会費：1口（10,000円）以上

特典：あすなろ通信送付（年3回発行）

問合せ：あすなろ通信の発行住所と同じ（TEL・FAXとも）